

日ごろ何気なく表現しているものを、「男女共同参画」の視点から確認してみよう。
また、確認作業をすることにより、日ごろから「男女共同参画」の視点を意識するきっかけにしてください。

9月発行の新しい風では、男女共同参画推進会議専門部会の活動紹介の中で、気付きのチェックリストにより皆さんに「男女共同参画」を身近に感じていただくことを目的にお知らせしました。

今回は、高山市が行うすべての「情報発信」を対象にして、男女共同参画の視点からの注意点をまとめた「高山市情報発信ガイドライン」を掲載しました。それを基に、普段何気なく使っている表現の中にも問題になるものがあるということに気付いていただくため、昨年の専門部会の教育グループで作成した高山市情報発信ガイドラインから4つの項目を抜粋し掲載しました。

必要な情報を正確に分かりやすく伝えることはもちろんですが、男女共同参画の視点からチェックしてみることも重要です。社会通念や慣習の中には、「男性はこうあるべき」、「女性はこうあるべき」という、社会によって後天的につくりあげられた社会的性別（ジェンダー）があります。社会的性別自体は、良い、悪いの価値を含むものではありません。しかし、社会的性別（ジェンダー）が性差別、性別による固定的役割分担及び偏見などにつながっている場合もあります。

ぜひこの機会に「男女共同参画」の視点を意識するきっかけにしてください。

男女を固定的に表現していませんか？

行動や嗜好は人それぞれ異なります。固定的な性別のイメージにより役割分担を強調したり、性別で職業を分ける表現は控えましょう！

男性＝スーツ姿



「男性は仕事・女性は家庭」といった固定的概念を捨てて伝えたい内容にあった様々な表現をしましょう。

女性＝エプロン

男性＝服の色が寒色系



性別に関係なく様々な色や形の物を身につけている現実を表現しましょう

女性＝服の色が暖色系



Point!

人物のイラストを使用する時などは、男性または女性だけに使われる固定的な色・形にとらわれがちですが、男女どちらも個性を表現するようにしましょう。

また、職場や家庭で協力する姿や、「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的概念を捨てて男女が様々な職業に就いている現実を反映し、多様な個性を表現するとよいでしょう。

性に特有な表現は必要でしょうか？

男性または女性だけに使われる表現は避けて、男女どちらにも使える言葉を使用したり、別の表現を考えるようにしましょう。

男まさり・男顔負け
女だてらに・女々しい
女(男)のくせに



女性が男性より劣っていることを前提とした表現と捉えられるので、「活発な」「積極的な」などの表現にしましょう。

看護婦・看護師
保父・保母
保健婦・保健士



看護師
保育士
保健師



Point!

看護師や保育士などは、法律が改正されるなど統一された表現に変わってきています。また、「対になる表現があるか」という視点が、特有な表現にあたるかどうかを判断する目安になると思われるので、参考にするとよいでしょう。